

宇宙への挑戦

東京学芸大学付属竹早小学校

三年一組 土屋 周作

宇宙センターに行っても興奮した。『きぼう』の試験を実際に見られたからだ。でも、行かない方がよかった所があった。宇宙をいよ研究している場所だ。ぼくはよいやすいので、頭をゆらす機械を見て吐き気がした。実験台にされている人がかかひえうだ。

開発員のお兄さんが『わたしの知っているかぎりでは人工衛星がこわれたということはありません。』と言っていた。ぼくもそうだと思う。人工衛星は一度打ち上げたら修理ができないから、一つ飛ばすまでに、ものすごくたくさんミッションをくり返すそうだった。

今ズスペースシャトルで野口さんが船外でタイルの修理をしている。そのうち人工衛星も修理が出来るようになるだろう。そうすれば宇宙のゴミも入らずに出来る。

二十世紀くらいになつたら、宇宙にすめ
るほび科学が進んでいるかもしれぬ。今は
宇宙にすめ事はできないけれども、民間人が
宇宙に行けるようにするための飛行機を研究
している。ほくもそんな飛行機を作りたい。
そして宇宙で、地上ではつくれないような物
をつくりたい。